

平成 28 年度東日本地域高等専門学校技術職員特別研修（物質系）参加報告

技術第 3 班 矢作 友弘

1. はじめに

この研修は、高等専門学校の技術職員に対して、その職務の遂行に必要な高度で専門的な知識を修得させ、技術職員の資質の向上を図ることを目的とし開催されている。本年度は、物質系技術職員を対象とした研修となっており、16 高専から 21 名の参加があった。

2. 主催・担当校

独立行政法人国立高等専門学校機構・
一関工業高等専門学校

3. 期間・会場

平成 28 年 8 月 29 日（月）～31 日（水）・
長岡技術科学大学

4. 研修内容等

【1 日目】

9：00－9：10 開講式

9：10－10：40 講義 I

「ガラス結晶化を利用した
機能性材料の開発」
講師：小松 高行 教授

11：00－12：30 講義 II

「水中有害重金属・BPA 類の除去および
二酸化炭素のメタン化における
光触媒材料の開発と関連機器分析」
講師：佐藤 一則 教授

13：20－13：40 記念写真撮影

13：40－15：10 講演 I

「技術職員の健康管理
～メンタルヘルスを中心として～」
講師：三宅 仁 教授

15：30－17：30 課題研究（班別討論）

「職場の課題と原因」

【2 日目】

9：00－12：30

「研究開発技術等の発表及び討議」
(発表 10 分、質疑 2 分)

13：30－17：00

「研究開発技術等の発表及び討議」
(発表 10 分、質疑 2 分)

【3 日目】

9：00－11：10 施設見学

11：30－12：30 講演 II

「技術職員に期待すること
～技術士の観点より～」
講師：郷 富夫 教授

5. 研修会に参加して

講義 I では、光ファイバーを例としたガラス材料について、さらにガラス状態から結晶状態への構造変化を制御して得られる最先端の材料研究についてご紹介していただいた。講義 II では、光触媒を利用した有害物の除去やメタン合成等興味深い研究をご紹介して頂いた。講演 I では健康で長生きするためのライフスタイルや、精神的なストレスのマネジメントの方法について具体的にご紹介頂いた。講義 II では、高専の現状と、その中で技術職員に期待される役割についてご教示頂いた。研究技術発表および討議では、研究、教育、地域貢献等に関する、様々な取り組みが紹介され、活発な意見交換が行われた。施設見学においては、最先端の研究・技術、分析機器設備を見学し、知見を広げられた。特に学生実験室の設備や薬品管理等について、有意義な情報交換が行われた。本研修会を通じて、多くの技術職員と交流し、業務に関する様々な情報を交換することができました。本研修での経験を生かし、今後の技術職員業務に励みたいと思います。